



## ごあいさつ

日本留学試験は、海外の留学希望者にとって、日本が留学先としてアクセスしやすい国になるため、留学希望者が自国にいたまま留学先の高等教育機関の入学許可を得ることができる渡日前入学許可をより一層促進していくことを念頭に開発され、平成14年から実施している試験です。この日本留学試験を利用した渡日前入学許可による外国人留学生入試が2年目を終え、この制度により2年間で46名の外国人留学生(非公開の大学を除く。)が日本の大学へ入学を果たしました。

しかし、この制度を実施している大学等は、45大学、11短期大学(平成16年12月15日現在)とまだまだ少なく、十分な数に達していません。

そこで本機構では、さらに多くの大学等に渡日前入学許可に取り組んでいただけるよう、この制度を利用して日本の大学に入学された外国人留学生等の方々に、喜びの声や体験談を執筆いただき、『渡日前入学許可体験談集』を刊行することといたしました。

本体験談集には、外国人留学生の方々の体験談以外にも、受入れた大学職員の方々及び日本留学試験を海外の試験会場で受験して入学試験のために渡日して大学に入学された外国人留学生の方々の体験談も掲載しておりますので、海外の日本留学希望者の実情や受入れ大学側の対応など渡日前入学許可実施の参考としていただければ幸いです。

**藤田 貢**

**独立行政法人 日本学生支援機構  
理事**

## 慶應義塾大学に入学したハウンビさんの体験談

### どうやって入学した大学の情報を得たか

インターネットを利用して調べたり、日本人の知人に学校のパンフレットなどを送ってもらったりして情報収集をしました。

### どうやって入学した大学との連絡を取ったか、またその時困ったことは？

学校との連絡は韓国から直接個人で取らなければなりませんでしたが、当時はまだ日本語があまり上手に話せなかったのが非常に苦労しました。それ以外にも、例えば普通の留学生なら日本に来て日本語学校などに通いながら勉強するのが一般的ですが、私は日本ではなく韓国で日本語を勉強していた為、大学の情報や受験勉強に必要な教材などを得るのが本当に大変でした。

また、当然のことながら日本で勉強していた留学生に比べ、日本語の力(特に会話力)が劣っていたので様々な不都合が生じましたし、自国とは異なる日本の文化に慣れるのに相当な時間を要しました。

### 日本留学試験受験のためにどんな準備をしたか

日本留学試験(EJU)受験には日本語、数学、総合科目があります。日本語は作文、聞き取り、読解があり、作文は毎日易しい内容から少しずつ書き始め、どんどんそのレベルを伸ばしていきました。聞き取りは問題集についているCDを聴くのはもちろんのこと、日本の音楽を聞いたり、テレビ番組を観たりすることで、生きた日本語を自然に聞き取ることができるように努力しました。これは大学合格後に日本で円滑に大学生活を送っていくのに非常に効果的であったと考えています。文法は同じ教材を二冊購入し、一冊は塾の授業で使用し、もう一冊は帰宅後にもう一度同じ問題を解くのに用いました。そうすることで、学習した内容をより深く理解できると同時に、授業で聞いているときにはなんとなく理解したつもりになっているあやふやな知識を、はっきりとした確実な知識として身に付けることが可能になりました。読解は新聞、雑誌、漫画等を読むことで、日本語に興味を失わないよう楽しみながら勉強しました。このように私は日本語を学習する際には、教科書だけに頼るのではなく、生きた日本語をできるかぎり楽しく、飽きないように様々な工夫をすることによって、日本語自体にとっても興味を持って学習することができました。数学は韓国の教材で基礎固めをした後、日本の知人から送ってもらった教材に復習を兼ねて取り組みました。総合科目はちょうどよい参考書があまりなかったので非常に苦労しました。それに加え、総合科目はEJUが開始された時から設けられた為、過去のデータが全くなく、自分で世界史の教材や政治に関する本などを購入して勉強するしか方法はありませんでした。また、勉強時間に関してですが、受験勉強期間中はどんなに短い時間であっても必ず毎日勉強し、勉強をしない日は絶対に作らないようにしました。



ハウンビ  
韓国出身  
慶應義塾大学 商学部1年

そうすることで知識だけでなく精神的な強さも身に付けることができ、本番の試験に大きく貢献したと考えています。

### 日本留学試験の試験問題について

EJUの問題は、全体的に見れば標準的なものだと思います。日本語に関しては、一所懸命勉強していればそれほど難しいということはなく、数学も同様に比較的易しいと感じました。しかし前述したように、総合科目は事前に得られる情報が皆無であったため、かなり苦戦を強いられました。

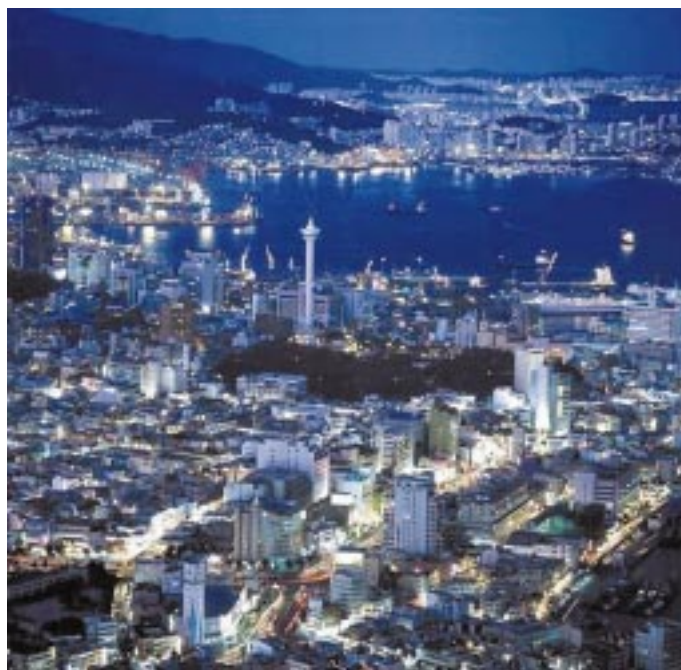
### 入学した大学から合格通知を受け取ったときの気持ち

一所懸命勉強し、できる限りのことはやったとの自負はありましたが、それでもやはり試験当日は不安な気持ちで一杯でした。それだけに、合格通知が来た時には言葉が出ない程嬉しかったことを今でも鮮明に覚えています。

### 渡日前入学許可で入学してよかったこと

私のように自分の国で留学の準備をする学生のためにあるこのシステムは非常に素晴らしいものだと思います。実際に日本に行って試験を受けなくても、自分の国で試験を受け、書類だけを提出すればいいので、学生にとって大きな負担となる高額な交通費がかからず、多数の大学を受験する学生は、試験があるたびに日本に行かなければならないということもありません。このシステムの恩恵を充分に受けている私は、とてもありがたい気持ちでいっぱいです。

プサンの夜景



### その他、日本の大学の外国人留学生入試で望むこと

日本の大学における外国人留学生入試には、改善して欲しいと思う点が一つだけあります。前述した渡日前入学許可の制度に関してですが、韓国に限らず、日本ではなく自分の国で受験勉強をしている留学生に対してもっと詳しい情報を提供してあげて欲しいと思います。実際、私が通っていた高校にも、日本に来て勉強をしたいと考えていた学生がかなりいましたが、自分達が行きたいと思っている学校の情報を得ることが非常に困難で、途中で諦めてしまうケースが多々ありました。せっかくの素晴らしいシステムを無駄にしないためにも、そのような配慮の徹底を強く望んでいます。

## 日本大学に入学したソ ジョンホさんの体験談

### どうやって入学した大学の情報を得たか

私が日本大学経済学部を知ったのは、日本国際教育協会(AIEJ) 当時)が主催する日本留学フェアでのことでした。

当時、私は高校3年生で、高校を卒業したらすぐ日本の大学へ留学しようと思っていました。高校1年生の時、私の在籍する高校が日本(福岡)の高校と姉妹関係を結んでおり、その高校を訪問するプログラムに参加し、日本に魅了されたのがきっかけでした。

日本の大学に入るためにはまず、日本語能力試験の1級か最低2級以上に合格していることが必要で、日本語の勉強も日本語能力試験に備えた勉強をしていました。高校2年生の時に2級に辛うじて合格し、3年生になったら1級に合格して日本へ渡ろうと思っていましたが、2002年に日本語能力試験は日本の大学の入試には利用されなくなるということを耳にしました。その代わりに、日本留学試験(EJU)という新しい受験制度ができたのです。今まで頑張ってきたのが全て水の泡になってしまうと思い、少しショックでしたが、すぐに心を改めて以前よりもっと頑張ろうと決め、まず、EJUの情報収集に力を注ぎました。幸いにも、韓国のインターネットにこの試験の公式サイトが存在し、そこから情報を得ることができました。そして、プサンにおけるEJU実施協力機関の釜山韓日交流センターでEJUの願書入手することになります。

しかし、私は日本に行きたい気持ちと情熱だけで、実際、日本にはどんな大学があり、どこの大学が有名なのかもまったく知らなかったのです。その時、ソウルで開催された日本留学フェアという日本の大学を紹介する説明会に参加しました。

日本留学フェアには、50以上の大学、専門学校、日本語学校の関係者が日本から直接来て、大変親切に説明してくれました。そこで、いくつかの大学の願書をいただいて帰りましたが、実際、少し基準が厳しいとも感じ、しかも、日本へ行って小論文や面接を受けなければいけない煩わしさもありました。それでは、EJUを韓国で受験しても結局意味がないと思っていたところ、持ち帰った願書の中に、今私の通っている日本大学の願書がありました。特に目立ったのが、日本大学経済学部では日本留学試験の成績などで選考するという受験方法(渡日前入学許可)もあることでした。しかも、願書に必要事項を記入して送れば、大学の方で私の成績を照会し合否判定をしてくれるというものでした。このシステムなら韓国から直接出願できるため、受験のために日本に行く必要もなく、すごく便利でした。

### どうやって入学した大学との連絡を取ったか、また、その時に困ったことは何か

FAXや国際電話で連絡を取っていました。今考えると、その時の日本語の実力では、私の方でも伝えづらかったし、お互いにかなり通じづらい面もありました。しか



ソジョンホ  
韓国出身  
日本大学 経済学部2年

も、よく分からなくてかなり無礼なことを言ってしまった覚えもあります。これはどちらの問題でもなく、日本の文化に不慣れなだけで起こった仕方のないトラブルであると思います。

### 日本留学試験受験のためにどんな準備をしたか

この試験の初受験生ともいえる私は、第1回目の試験だったため、試験の概要などは知っていても、実際、練習問題すら見られず、試験に臨むしかありませんでした。韓国では、東洋文庫から出版された『日本留学試験(EJU)総合科目』という本1冊で勉強をしていました。この本を見てからは総合科目の範囲が広いことに気づき、新聞やニュースを見聞きしながら、より多くの時事や世界情勢などを知らうと総力を注ぎました。

### 日本留学試験の試験問題について

私の日本語の実力が最も上がった時期は、日本留学試験に備えて勉強していた頃だと思います。日本語能力試験のように日本語と言語的な感覚さえあれば解けるのとは全く違って、日本語で普通の科目の問題を解かなければならなかったからです。日本語の話し言葉や文章の構成の違いに気づいたのもこの時でした。

### 入学した大学から合格通知を受け取った時の気持ち

もう言うまでもありません。全てを手に入れた気持ちでした。2年間苦労した甲斐があったと思いました。しかも、個人的な事情ですが、韓国で健康な男性として生まれたら誰でも行く兵役という制度があります。もし、日本大学経済学部合格していなかったら、今頃は軍隊で訓練を受けていたかもしれません。その意味からも、EJUと日本大学経済学部は、私の人生を180度変えてくれました。

### 渡日前入学許可で入学してよかったこと

受験のために日本に行く必要がないので、時間とお金を節約することができたことです。そのことによって、いろいろな煩わしいことから解放されたと思います。

### その他、日本の大学の外国人留学生入試で望むこと

これからも、より多くの外国から学生たちが来日しやすいように、いろいろな大学と協力して、渡日前入学許可をいただける環境を整えてください。

## 中央大学に入学したアン スンジュンさんの体験談

### 日本への留学を決意

私は軍隊に入る前は音楽少年でした。アルバイト先からスタジオそしてライブハウスを回る生活を送っていました。韓国で日本語を専攻したのも、「日本でレコーディングを勉強したい」ということが理由のひとつでした。韓国には兵役の義務があります。私もほかの韓国人の男性と同じように軍隊に入りました。軍隊での生活を通し、音楽以外にも経営に関心を持つようになりました。「経営学を勉強しよう」と決めてから様々な道を考えました。その末、アジアで1番・世界で2番目の経済大国であり、個人的に関心を持っていた日本への留学を決意しました。

### 日本留学試験対策

日本への留学を決意してから、第1の問題は「何を準備する必要があるのか」でした。私が準備を始めたのは軍隊に入って1年が経った時でした。当時、日本の多くの大学が日本語能力試験1級と私費外国人留学生統一試験の受験を要求していました。そこでまず私は日本語能力試験の勉強を始め、2002年に日本語能力試験1級に合格しました。しかし、2003年度から日本の大学に入学するためには日本留学試験(EJU)を受けなければならないようになりました。韓国の大学に入ってからずっと音楽一筋だった私にとって、EJUの「総合科目」と「数学」は大きな壁でした。数学はもうほとんど忘れてしまい、因数分解もできない状態でした。中学3年生の数学の教科書を手に入れ、数学の勉強を始めました。そしてようやく高校1年生並の数学ができるようになりました。もともと数学が苦手な私にとって、それは最善を尽くした結果でしたので自分なりに満足しました。「総合科目」の勉強は楽しいものでした。日本の歴史、公民など社会に関心が強かった私には相性の良い科目でした。EJUが韓国の大学修学能力試験と出題傾向が似ていたのも助けになりました。

### 日本留学試験を通じて情報収集、中央大学へ留学決心

2003年の初夏、韓国のプサンで試験を受けました。まだ勉強は終わってなかったのですが、試験場の雰囲気と出題傾向を体験するためです。試験の結果は期待以上でしたが、もう少し頑張ることにしました。また、EJUの願書に同封してあった資料より、日本留学フェアがあることを知りました。日本留学フェアは日本での留学先を決める際、本当に参考になりました。私の兵役は2004年1月1日に終わることになっていました。軍人の身分で海外には自由に行けません。2004年4月に日本の大学に入学するために、私は日本に渡日する前に入学を許可してくれる学校を探しかありませんでした。その条件のなか、私の心を引いたのが今の私が通っている中央大学でした。中央大学商学部のB方式入試は、大学の個別試験を受けなくてもよく、EJUとTOEICまたはTOFELの成績と出願書類による書類審査で合否の決まる制度でした。



アン スンジュン  
韓国出身  
中央大学 商学部1年

### いよいよ本番、日本留学試験

2003年の初冬またプサンで本番を迎えました。「日本語」は難しいというより思考力を要し、時間が足りませんでした。「総合科目」は勉強した通りで気持ちよく解答することができました。最後の「数学」はそれ程難しい問題ではなかったのですが、半分も解けませんでした。少しがっかりした気持ちで家に帰りました。

### 中央大学への出願そして合格

中央大学への出願にあたって、韓国から日本に願書を送るのも簡単ではありませんでした。日本に代理人がいなかったからです。兵役を終えてから、通っていた日本語会話教室の先生にお願いして代理人を引き受けていただきました。それでようやく願書を送ることができました。しかし、受験料を海外送金する際、為替や手数料などの関係で送金金額が受験料に足りなくなっていました。中央大学の担当者から韓国の私の家まで電話があり、対応していただいて無事に出願することができました。合否結果を待ちかね、いらいらしていた私に2通の手紙が届きました。1通はEJUの成績によって、私費外国人留学生学習奨励費の予約者に選ばれたという通知、そして、もう1通は中央大学に合格したという通知でした。1年半の間、努力してきて本当に良かったと思いました。

### ついに日本へ

2004年3月末、私は初めて日本に来ました。飛行機から富士山と太平洋を見たとき、「ここが、俺が4年間住む国、日本だ!」と実感しました。日本での生活も、スムーズには始まりませんでした。まず、住居の問題です。留学生の身分で住む家を借りるのも簡単ではありませんでした。学校の紹介でようやく今のアパートを借りることができました。また、4月に入ってからようやく留学の在留資格を取得できました。そして、アルバイト先も決まりました。日本に来て、最初の6ヶ月はあっという間でした。これからが、いよいよ留学の本番だと思います。日本に留学するために頑張っていた自分の姿を忘れない限り、楽しく充実した留学生活ができると思います。

ソウル市内



## 京都ノートルダム女子大学に入学した石 育 綺さんの体験談

### どうやって入学した大学の情報を得たか

2003年4月に京都ノートルダム女子大学に入学しました。入学前には台湾で実施された日本留学フェアで様々な大学の資料を集めて、留学の情報を得ました。入学する前の準備の工夫はとても大切だと思います。大学の環境と施設のほかに入学試験の出願方法はとても大事です。最初は何も分からなくて、将来のことを心配する時期もありましたが、いろいろな留学の資料を読んでこの大学に入ることを決めました。

### どうやって入学した大学との連絡を取ったか、また、その時に困ったことは何か

日本の大学に入学するにはいろいろな方法がありますが、私は日本留学試験（EJU）の成績を利用した京都ノートルダム女子大学の渡日前入学許可による入学試験で台湾から直接出願しました。合格通知書を待つ間に日本語の勉強も続けました。合格通知書をもらった後に入学の手続きをしないといけないので、学校との連絡はほとんど手紙でした。時々電話も頂いたこともあります。特に困ったことはありませんでしたが、大学の周りの環境と状況が知りたいので、入学する前に母と一度日本に来ました。そして、大学の国際交流課の先生達にも挨拶をしました。学校を一回見てやっと安心しました。帰国した後に日本へ留学の準備と入学の手続きをしました。



石 育 綺  
台湾出身  
京都ノートルダム女子大学  
人間文化学部 2年

### 日本留学試験受験のためにどんな準備をしたか

私は日本の大学へ直接入りたいためにEJUを受けました。入学試験は大学によって内容が違いますが、日本で筆記試験と面接を受ける場合が多いようです。しかし、EJUは日本に行かずに自分の国で受験することができるので私にとってはとても便利なものでした。EJUの受験をする前に日本語を一生懸命勉強しました。日本語の勉強を始めたのは高校生の時です。一年間の交換留学生として名古屋の高校で日本語を勉強し、その一年間で日本語の能力がかなりつきました。そして、高校の課程を修了するために、台湾に帰国しました。その後、日本の大学へ進学することを決め、独学で日本語と日本の高校の教科書（地理、社会、歴史、世界史）を使ってEJUの受験勉強をしました。

### 日本留学試験の試験問題について

EJUの「日本語」の内容は大学生活の状況と文章を書く力を表す問題が多いです。その他、聴解の問題も重視されています。読解と単語力はもちろん必要です。この試験は留学生のために書く力、聞く力、文法などすべて含んでいます。試験問題の内容は毎年変わる所がありますが、日本の現実の生活で使える言葉を活用し

た同じ形式の問題が多いです。またEJUには「日本語」以外に「総合科目」などもあります。これは留学生にとって自分の行きたい専門に応じて受験科目を選ぶことができます。

### 入学した大学から合格通知を受け取った時の気持ち

大学に出願してから合格通知書が届くまでは一番緊張する時期です。その間は毎日ドキドキしていました。合格通知をもらった瞬間は言葉では言い表せない嬉しい気持ちでした。そのあと、家族と友達に伝えたら、皆が喜んでくれました。もう一度日本へ留学ができることは私にとっては幸福なことです。その気持ちは今も変わっていません。

### 渡日前入学許可で入学してよかったこと

渡日前入学許可の最も良い点は自分の国でEJUを受けて、その成績で日本の大学へ入学できるという点です。入学試験のためにわざわざ日本に行かなくてもすむことは経済的にも助かります。また、合格してから入学までの期間に余裕があったので入学手続きもスムーズにできました。私の場合は留学先の第1志望であった京都ノートルダム女子大学が渡日前入学許可を実施していた大学だったので本当に幸運でした。日本に留学を希望している学生のためにもっと多くの大学が渡日前入学許可を実施してくれるよいと思います。

### その他、日本の大学の外国人留学生入試で望むこと

日本の大学は留学生に対する留学制度が以前とかなり変わってきていると思います。日本の大学は留学生入学試験でこれまでの日本語能力試験に代えEJUを利用するようになりましたし、京都ノートルダム女子大学のように渡日前入学許可で留学生を入学させる大学もできました。しかし、ほとんどの大学は日本で試験を受けないといけないことになっており、その点も留学生にとっては不便なところですが、自分の国でEJUを受けて大学に出願し、その成績で合格が決まる渡日前入学許可や、書類審査で受かってから日本へ行って面接を受けることもいいことだと思います。

台北市内(新光生命保険大樓)



## 立命館アジア太平洋大学に入学した Rika Oshima さんの体験談

### どうやって入学した大学の情報を得たか

立命館アジア太平洋大学 (APU) のことは、帝京マレーシア日本語学院で日本語を勉強していた時に先生から聞きました。先生は、新しい国際大学が九州にあること、そこでは日本語か英語で授業が受けられること、もし興味があれば出願できるということを教えてくれました。ここでは日本語と英語能力を同時にレベルアップすることができるので、私にとって1番良い大学だと思いました。より詳しい情報は先生から教えてもらったAPUのホームページで得ました。また、現地の新聞や日本語図書館にもAPUの広告があったので、情報を集めるのは簡単でした。特に私の先生はAPUの先生と友人でしたので、その方からもAPUの実際の様子を聞くことができました。



Rika Oshima  
マレーシア出身  
立命館アジア太平洋大学  
アジア太平洋学部 2年

### どうやって入学した大学との連絡を取ったか、また、その時に困ったことは何か

先生から願書をもらい、記入、提出しました。願書の記入については、項目毎に指示が書かれてあったので、容易にできました。合格通知を受け取った後、日本に行く前に何を準備すべきか、何をしておくべきか、日本には何があるのか、など全く知識がなかったので、いくつかの問題に直面していました。しかし、その後APUの方がマレーシアに来て、私たち入学予定者と話をする機会がありました。その人は私や私の母とEメールや電話で定期的に連絡をしていた人です。彼は親切で、迅速で協力的だったので、とても助かりました。

### 日本留学試験受験のためにどんな準備をしたか

日本留学試験 (EJU) の初回実施の試験を受験したので、どのような試験かということは予め分かっていませんでした。日本語学校の先生も同様にこの試験については知らなかったもので、教えてくれることはできませんでした。直前2週間に「数学」と「総合科目」を日本語学校で勉強しましたが、これまで日本語でそれらの科目を勉強したことはなかったので、難しく感じました。2週間という期間は、必要な知識を全部頭に入れるには十分ではないと思ったので、勉強はそれより先に始めました。図書館へ行き、「私費外国人留学生統一試験」の過去問題やEJUの試験に関係のありそうなテキストを探しました。それからテキストを読んで、出来るだけ多くの問題を解きました。数学については、自分が昔勉強をした教科書を読み、高校で習ったことを思い出すようにしました。また、「日本語」の試験についても、日本語能力試験の1級と2級の間くらい難易度ということを他の学生から聞いていたので、1級試験のための、語彙、文章構成、リスニング、漢字を集中的に勉強しました。

### 日本留学試験の試験問題について

「日本語」の試験は、日本語能力試験と同じような構成でしたが、私が勉強した1級の過去問題より難しく感じました。「読解」の問題はとても難しかったです。が、1級試験に向けて、たくさん勉強をしていたので、良く出来たと思います。

### 入学した大学から合格通知を受け取った時の気持ち

出願してから合格通知を受け取るまではあまり時間がかからなかったので、安心しました。また、100%学費免除の奨学金をもらったので、母親に生活費は送金してもらうことになりますが、あまり負担をかけずに勉強ができると思い、とてもうれしかったです。同時に、家族や住み慣れた環境を離れて知らない土地に行くこと、この大学が私が独立し、社会人となる最初のステップになるのだという実感がはつきりしてきました。このようなことを考えると、興奮と緊張で、APUへの入学が待ちきれませんでした。

### 渡日前入学許可で入学してよかったこと

正直に言うと、その時はAPUに行くのが正しい選択なのかどうか、確信が持てませんでした。大学進学の間機を得たことは嬉しかったのですが、その進学先が自分の将来を変えるということを考えると、これが正しい選択なのかという不安がありました。APUの大学案内を読み、ホームページを見て、まわりの人にも繰り返しこの大学について尋ねました。しかし、自分で見て、経験し、自分が何を求めているかを自分自身で判断しなければなりません。もし私がこの質問を来日前に聞かれていたら、「分かりません」と答えたいでしょう。しかし、APUで勉強を始めて一年半が経った今は、自信を持って、「APUに入学できて良かった」と言うことが出来ます。

### その他、日本の大学の外国人留学生入試で望むこと

EJUを受験し、今、日本で大学に通っている者として、私はこの試験を日本語で受けることを、これから試験を受ける皆さんへアドバイスしたいです。入学する大学がどの言語で試験を受けるべきかを指定していない場合、日本語で受験するほうがよいでしょう。日本の大学に入学した後は、講義や試験、レポートは日本語で書かなければなりません。そのため、日本へ来る前に、日本語を書いたり、問題に答えたりする訓練をしておく、より楽になると思います。

(原文は英語)

KLタワーから見る  
ペトロナスタワーの夜景



## 立命館アジア太平洋大学に入学した Nguyen Quy Hoang さんの体験談

### どうやって入学した大学の情報を得たか

ハノイで開催された立命館アジア太平洋大学( APU )の学校説明会に参加しました。APUはベトナムでの説明会の開催や、日本で英語で学べる環境ということで、ベトナム学生に良く知られた日本の大学です。授業が英語で開講されているので、日本語の勉強を優先していない学生でも日本で勉強できます。それから、友達に日本留学試験( EJU )のことを聞いて、私はより詳しい情報を得るために、ハノイにおけるEJU実施機関であるハノイ貿易大学の国際関係課へ行き、話を聞きました。そこで、出願書類、日本へ行く前に受け入れ許可をもらえる大学( 渡日前入学許可大学 )のリスト、それぞれの大学へ出願するために必要となる試験科目と言語のリストをもらいました。このリストにAPUの名前がありました。それから、更に詳しい情報を入手するため、日本国際教育協会( AIEJ ) 当時 とAPUのホームページを見て、APUのアドミッションズオフィスにEメールを出し、入学のためには、EJUが必要なのかを聞きました。EJUの試験結果は必ずしも必要ではないけれど、成績が参考にされるといふこと、高得点を取ったら学習奨励費が予約されるといふ返事をもらい、この試験を受けることを決めました。APUへ必要な科目と言語を考えて、「数学」と「総合科目」の2つの科目でEJUに出願しました。



Nguyen Quy Hoang  
ベトナム出身  
立命館アジア太平洋大学  
アジア太平洋マネジメント学部 1年

### どうやって入学した大学との連絡を取ったか、また、その時に困ったことは何か

EJUが終わった後は、結果を待ちながら、APUへ出願する際に必要な書類の準備をしていました。その時は、Eメールが一番有効な連絡手段でした。書類や出願手続きについて質問があるときは、いつでもEメールを出すと、すぐに返事をもらうことができました。

### 日本留学試験受験のためにどんな準備をしたか

私は2003年6月にEJUを受けました。EJUは新しいタイプの試験で、このような試験問題には慣れていなかったため、試験までに十分な準備をする必要がありました。最初にAIEJ( 当時 )のホームページでEJUのセクションを見ました。そこで、試験の時間割や、解答方法などの情報を見ることができました。次に、EJUの過去の問題集を探しました。それをベトナムで買うのは大変難しかったのですが、AIEJ( 当時 )のホームページとハノイにあるベトナム日本人材協力センター( VJCC )の図書室で見つけることができました。この問題集を使って、出題傾向や、必要な知識について学びました。さらに、友達や過去にEJUを受験した先輩に彼らの実際の経験について聞きました。他の試験と同じように、EJUでも試験への準備、解答のテクニックを身につける必要があります。

### 日本留学試験の試験問題について

EJUの試験問題は、要求の厳しい試験だと思います。試験問題は特に専門的というわけではないのですが、幅広い知識が要求されます。「数学」のテストでは、広い分野からの質問がありました。「総合科目」のテストでは、多くの出来事や国、人々について出題されていました。それに加えて、EJUはとても時間が長いテストで、それぞれの質問を答える時間は少ししかありません。正直にいうと、時々答えを確信がないまま解答しなければなりませんでした。

### 入学した大学から合格通知を受け取った時の気持ち

2003年、EJUの結果を受け取ると、すぐにそれをAPUのアドミッションズオフィスに送りました。その後まもなく、2004年春入学への合格通知を受け取って、大変うれしかったです。私はずっと、日本の大学で勉強することにあこがれていました。

### 渡日前入学許可で入学してよかったこと

最もうれしかったのは、入学試験のために日本へ行かずに入学許可をもらったことです。数年前までは、そのようなことは不可能だったと思います。もう一つ、素晴らしいことは、入学後には学習奨励費の受給を予約されたことです。この奨学金は日本での生活費としてとても助かっています。

### その他、日本の大学の外国人留学生入試で望むこと

EJUは留学生に日本の高等教育機関で勉強をする新しい機会を与えてくれます。近い将来には、EJUのおかげで、日本への留学生は、更に増えるでしょう。私は日本学生支援機構(JASSO)がもっと多くの教育機関に日本留学試験を利用するように勧めるべきだと考えます。そうすれば、EJU受験者は、入学する学校を選ぶためのより多くの選択肢を得ることになります。それに加えて、より多くの受験者がEJUの問題集を利用できるように、日本国外で購入できるようになればよいと思います。それから、JASSOはもっと海外で説明会を開催し、日本の教育制度とEJUについて説明をするべきだと思います。これらのことを実施すれば、確実にEJUの受験者の数は増えるでしょう。

(原文は英語)

世界遺産に登録されている  
ハロン湾の風景



## 山形大学に入学したキム ソンイルさんの体験談

### どうやって入学した大学の情報を得たか？

最初は日本国際教育協会 (AIEJ) (当時) のホームページで情報を得ました。その後、メールや電話で入試課の者と連絡を取ったり、知り合いの日本の方と相談したりして大学の情報を得ました。

### どうやって入学した大学との連絡を取ったか、また、その時に困ったことは何か

急いでいないことに関してはメールで連絡を取り、急いでいることに関しては国際電話で連絡を取りました。困ったことは願書を国(韓国)まで送ってもらうことができなかったため、知り合いの日本の方に頼んで送ってもらったことです。それから日本の郵便為替が購入できなかったため、現金を願書の封筒に入れて出願したのですが、無事に大学の入試に届いてよかったと思います。また一部の大学では願書を取りに来校しなければならないところもありまして、自国に滞在している者には出願するチャンスもなかったことです。



キム ソンイル  
韓国出身  
山形大学 工学部1年

### 日本留学試験受験のためにどんな準備をしたか

毎週1回ぐらいはインターネットや電話などを通じて日本留学試験 (EJU) の状況や大学の情報を取得しました。それから1ヶ月に2回ぐらいは健康のため山登りをしました。

日本語の試験のためには新聞社のホームページを利用すること、地元の日本人と付き合いながら準備しました。

それから基礎学力科目(数学、物理、化学)は易しく説明している参考書を元に毎日予習と復習をしました。

### 日本留学試験の試験問題について

2001年まで日本の大学に入学するためには日本語能力試験と私費外国人留学生統一試験が必要でしたが、2002年度からは新しい試験、EJUができていろいろ期待を持つようになりました。もちろん多数の大学では英語能力を判断するためにTOEFLを要求していましたが、いつでも何回も受験することができますから受験生の負担が軽くなったと思います。

次に日本語の試験ですが、以前の日本語能力試験で使われている難しい単語や表現の問題を避け、聞き取りを中心に大学内でよく使われているすごく実用性が高い問題が多く出題されていまして素晴らしい試験だと思いました。改めてこの場を借りて、このような問題を作ってくださったJASSOの皆さんに心から感謝します。

それから、物理と化学の問題ですが、時間内にすべての問題を解くのが厳しい問題が多数ありますので、受験準備をしているとき問題を理解して解くというよりも理

解は後回しにして、問題と答えを丸暗記しなければならないことが残念であると思います。留学生の学力を試験で判断することは非常に難しいことだと思います。なぜかという、国それぞれ高校までの教育が異なりますから。しかし、試験問題を難しくすることによって受験を準備している外国人留学生は心的に大変な負担がかかります。もっと簡潔でその問題についての知識を持っているかどうかを判断するような問題がより効果的な判断基準ではないかと思っています。

### 入学した大学から合格通知を受け取った時の気持ち

受験している間の不安な心境から自分が入学を目指している大学からの合格通知を受け取った時の気持ちは言葉で説明できないくらい、嬉しかったです。もちろん、自分が大学を無事に卒業できるか、また、大学の生活が大変ではないかなど心配はありましたけれど、合格通知を受け取った時は大変嬉しかったです。

### 渡日前入学許可で入学してよかったこと

日本に滞在しながら受験を準備しようとすると莫大な金銭的な負担や住まいの問題それからビザ取得の心配などがありますが、自国の自宅で受験の準備をして、地元で日本留学試験を受けることができ金銭的、精神的に安定した状態で受験準備ができてよかったと思います。

### その他、日本の大学の外国人留学生入試で望むこと

まず、自国で日本の大学の情報を取得することが非常に難しいのです。具体的にいいますと、大学から大学案内書や説明書を送ってもらっても詳しく説明が載っていないことが多いので、知りたいことをすべて大学側に連絡して確認を取ることがとても大変です。

例えば、年間生活費はどのくらいかかるか、寮はどこにあって施設はどうなっているのか、チューターはつけてくれるのか、奨学金はどうなっているのかなど、生活をどうやってやればいいのか入学する前には予想できなかったので、入国から大学の地元で定着するまで、いろいろ苦労したと思っています。

それから、韓国では年1回ソウルと釜山で「日本留学フェア」が行われています。去年私も釜山での日本留学フェアに参加し、大学の先生方にいろいろ相談することができ、非常に参考になりました。こういう機会を増やしていただければ、受験を準備している学生にとっては大変ありがたいと思います。

## 山形大学に入学した Mohamad Afizi khairi BIN Mohamad Ngasri の体験談

その日の朝クアラルンプールにある帝京マレーシア日本語学院(現地名IBT)を探すのは大変でした。マレーシアの教育省からの手紙に書いてあったIBTという日本語学校はそれまで聞いたことがなかったからでした。その日2002年5月21日そこに登録して2年間の勉強が始まるようになりました。

実は2001年に全国で行われた試験を受けてマレーシア政府の奨学金がもらえるようになったという返事が来ました。でもその奨学金をもらう前に2年間の予備教育が必要でした。だから日本語の勉強を2年間しなければなりませんでした。

### どうやって入学した大学の情報を得たか

毎年クアラルンプールで日本留学フェアが行なわれ、そこで日本の大学の情報を入手することができました。日本の大学から卒業した先輩たちが色々な話を聞かせてくれました。例えば、「日本での生活」とか「楽しい大学」という話でした。そこで出会ったのは山形大学を卒業した一人の先輩でした。彼の話から山形大学に良い印象を持ち入学したいと思いました。

そして学校には米沢出身の先生がいました。その先生は日本語の先生で、日本留学フェアに行った後いつも先生と山形大学について話をしました。「山形はどんなところか」とか「私は山形大学に入学するべきか」というようないろいろなことに関して相談し、また、アドバイスもしていただきました。でも今まで印象に残っているのは「米沢は田舎だけど山形大学の工学部キャンパスは米沢にあるから勉強にいいと思う」という先生からのアドバイスでした。

インターネットでも山形大学に関する情報を調べました。山形大学の設備とか行なう授業の科目を気に入ったのでこの大学に入ってもいいかなと思いました。現在山形大学で勉強しているマレーシア人の先輩は結構いるし留学生センターもあるから自分の面倒を見てくれるかもしれないと思って山形大学に入ろうと強く決心しました。

### どうやって入学した大学との連絡を取ったか、また、その時に困ったことは何か

日本留学試験(EJU)を受験した後、学校の先生を通して山形大学と連絡を取りました。山形大学への入学願書が入手できたのも先生のおかげでした。つまり全部は学校の先生がやってくれました。それで山形大学から合格通知受け取ったのも先生なので私は山形大学の責任者に全然接触しませんでした。私がやったのはただ入学願書を記入するだけでした。

### 日本留学試験受験のためにどんな準備をしたか

学校では日本に進学したいという学生が先生と一緒に目指すのはEJUです。EJUは日本語で受験しなければならないので日本語の勉強を始めました。これは私の一番必要な準備でした。EJUに向かうためにみんな力を合わせて進んでいきました。私はそれまで日本語に関しては何も知りませんでした。それで入学してから6ヶ月の間に日本語の初級しか勉強しませんでした。私にとって初級はちょっと簡単なのでその時は何も困ったことはありませんでしたが、中級に入るとだんだん難しくなって暇はあまりありませんでした。毎日覚えなければならない複雑な漢字や新しい言葉があって時々頭が痛くなってしまいました。先生もいつの間にか厳しくなってきました。やはり日本語の勉強は大変でした。その時は刑務所にいるように感じられました。色々なことさせられてあきらめたいという気持ちもあったけれど考え直すと誰でも外国語を勉強したら大変じゃないかと心の中から聞こえてやはりあきらめてはいけなと強く決心しました。

中級のシラバスが終わってから時間がないためちょっとだけ上級を勉強しました。EJUの



Mohamad Afizi khairi BIN  
Mohamad Ngasri  
マレーシア出身  
山形大学 工学部1年

試験日が近づいていたので特別な準備を始まらないとだめだったからです。どんな準備かというと理科と数学の勉強を始めるといのです。そのために校長先生が特別に日本から優れた理科の先生を連れてきて担当してもらうことになりました。数学、科学、物理について3人の偉い先生に教えられて多忙な毎日でした。休む機会がないほど毎日朝9.20から午後6.30まで授業を受けたわけでした。土曜日数学の授業があって学校に行かなければなりませんでした。これもまた大変な期間でした。

午前中には日本語の復習をやってその後理科の勉強でした。日本語の復習といえば初級から学んできたものを全部もう一度目を通して頭にしっかり覚えめました。私が覚えている限りではその時3回復習試験を行っていました。そして前年のEJU問題もやってみました。これも2,3回やってきて別の年のEJU問題をみんなと一緒に試しました。でも実は私はEJUを3回受けたことがあります。2003年11月に私が受けた最後のEJUは精いっぱい受けたけどその前に受けたのは2002年11月と2003年6月)ただのEJUへの挑戦として受けました。初めに受けた時にちょうど初級が終わってからでした。もちろん全然答えられなかったけれどもEJUはどんな問題が出るか、どのように行われるか、どのように答えを書けばいいか、それは心の準備として2003年11月のEJUを目指していました。または学んできたものをどのくらい分かるか、自分の能力はどんな程度か、毎回EJUを受けるにつれてすべてがだんだん分かってきました。なぜかという、毎回EJUを受けたら結果が良くなってきてこの結果の比較で自分の評価ができました。私にとってこれは本当のEJUを受ける前の必要な準備の一つだと思いました。

その他にEJUの準備のため日本語能力試験を受けました。受けたのは3級、2級と1級でした。3級と2級は400点の内300点以上取れて合格しましたが、1級は学校でもあまり教えてくれなかったため不合格でした。でも日本大使館によれば、日本に留学するためのビザをもらうには少なくとも日本語能力試験の2級を合格しなければならないという条件があったから「もうそろそろ日本にいける」という気持ちが現れてきました。本当に2級に合格してよかったと思いました。

### 日本留学試験の試験問題について

EJUの問題は本当に難しかったと思います。私だけではなくEJUを受けた他の人もそうだと思います。EJUの前に一番心配になることは理科の準備でした。それはなぜかというとマレーシアと日本の教育制度がちょっと違うので日本の教育制度と合わせるために時間がかかるからです。3ヶ月間日本語で理科の勉強は本当に足りないと思ったがそれは学校が決めたことだから仕方ありませんでした。後輩たちにはもっと早く理科の準備をさせてほしいと思います。

### 入学した大学から合格通知を受け取った時の気持ち

山形大学から合格通知が届いたとき、すぐ先生に教えられて当時授業を受けていた私は本当に驚きました。その連絡は夢のような信じられないことでした。でも驚いていた内に本当にうれしい気持ちが混ざってきました。やっと高校時代から日本に進学したいという自分の夢が叶ってよかったと思いました。

### 渡日前入学許可で入学してよかったこと

渡日前入学許可で入学すると何も問題なく簡単に日本に留学するビザが入手できました。そして、大学では日本人学生と同様に扱われ、授業を行なうときには全然差別がありません。すべての大学の設備が利用できます。渡日前入学許可は本当に便利だと思います。

## 早稲田大学に入学したり ウンニョンさんの体験談

### どうやって入学した大学の情報を得たか

まず、渡日前入試許可制度があることは、日本留学試験(EJU)のホームページを見て知りました。しかし、早稲田大学の渡日前入試については書かれていなかったため、早稲田大学はこの制度を利用していないと思いました。私が入りたい大学が早稲田大学だったので、よく早稲田大学のホームページをチェックしていました。6月くらいに偶然、早稲田大学のホームページで渡日前入試についての情報を見つけて、いいチャンスであると思って、受ける準備をしました。情報の収集が大切であると感じました。



リウンニョン  
韓国出身  
早稲田大学 教育学部1年

### どうやって入学した大学との連絡を取ったか、また、その時に困ったことは何か

早稲田大学の渡日前入試について知る人は周りに全然いませんでした。インターネットなどで調べたのですが、渡日前入試についての情報が見つからなかったため、自分で直接、早稲田大学に電話しました。時々、担当者がいないため、渡日前入試について確実な情報が得られず、少し不安でした。しかし、あきらめず、何回も学校に電話し、様々な情報を教えてもらって、ようやく書類を準備し、受験しました。

### 日本留学試験受験のためにどんな準備をしたか

韓国ではEJUのための資料と本があまりありませんでした。しかも、早稲田大学の渡日前入試は6月のEJUの受験が必要ですが、留学生希望者は普通、11月のEJUを受けることが多いため、書籍もとても少なかったです。インターネットで日本の書店にあるEJUの本を買って勉強しました。とにかくたくさんの本の問題をできるだけ、練習するようにしました。そして、日本語は韓国の普通の日本語教室に通いながら勉強しました。総合科目と数学は習う教育機関もなかったため、本を見ながら独学で勉強しました。高校時代に習った部分もあったのですが、それを日本語で理解できるようになるまではかなり時間がかかりました。そのため、総合科目の本を何回も読みました。そして、作文のために日本の新聞を購読しました。2ヶ月くらい毎日少しでも見るようにしました。作文の場合はまず、本に出ている書き言葉と表現を覚えて、直接、書くようにしました。見てくれる人はいなかったのですが、書きながら、いい内容と表現など考えたりしたので、役に立ったと思います。そして、私が住んでいた所がNHKの番組に出たため、聴解の勉強に役に立つと思って、ニュースやドラマなどを見ました。知らない言葉が出たら、辞書を引いたりして勉強しました。

### 日本留学試験の試験問題について

まず、EJUはスピードが必要であると思いました。特に日本語の場合、読解の時間が少ないと思いました。私の場合はぎりぎり終わりました。そして、日本語の基本の実

力が必要であると思います。日本語能力試験と違い覚えるだけでいい点をとるのが難しいと思います。総合科目の場合は範囲が広いのですが、高校時代にならったことが多いので、まずは日本語の理解が大切であると思います。その後で、韓国では習ってない日本史と日本の地理に関する内容などを覚えたいと思います。数学も高校時代の内容が多いので、問題の日本語を理解することが先であると思います。

### 入学した大学から合格通知を受け取った時の気持ち

家でずっと郵便物を待ちました。明示されている日より遅く来ました。封筒もらった瞬間はかなり薄かったので、不合格と思いました。しかし、開けた瞬間「合格」の文字が見えました。目を疑って、何回も確認して、合格したのだと感じました。様々なことが、特に自分なりに苦勞したことは思い浮かんで涙が出ました。初めて嬉しくて泣きました。そして、お母さんに電話して合格したことを伝えました。お母さんも泣きました。早稲田大学に入りたいということは高校生の時から口癖のように言っていました。本当に叶うなんて、夢みたいでした。この日が今まで生きていて、一番嬉しい日であると思います。

### 渡日前入学許可で入学してよかったこと

9月にもう合格が決まったので、11月試験を準備している人たちより早く楽になりました。11月試験まで、一応受けることにしたのですが、何の負担もなかったです。精神的に受験から開放されたことが一番良かったです。そして、試験のために痛んだ腰の治療や今まで、会えなかった友達に会って楽しい時間を過ごしました。そして、久しぶりに家族と旅行に行きました。日本の留学準備の期間も長かったので、部屋を探すことや荷物の整理など、ゆっくりできました。渡日前入試は冬に受験する人より時間も情報もあまりないですが、これを乗り越えれば、その人より早く受験が終わるし、終わってから自由な時間が長いので、色んなことができることがいい点であると思います。

プサンの海

### その他、日本の大学の外国人留学生入試で望むこと

外国人留学生入試について、各学校のホームページにあまり情報がなかったので、どうすればいいかわからないことが多かったです。ある大学は1月になっても情報がなくて、留学生がいけないかなと思いました。しかし、直接電話すると、留学生の入試があったのですが、情報がなくて戸惑いました。大学ホームページに留学生のための情報をもっと充実していたら、迷わずできると思います。前年の入試問題が見られる大学がありますが、そのような大学の数が少なく、もっと多くの大学がそのようになれば、受験生にとって役に立つと思います。



## 京都外国語大学に入学したRika Gunadiさんの体験談

### どうやって入学した大学の情報を得たか

私は日本学生支援機構( JASSO )( 日本国際教育協会( AIEJ )( 当時 ) )で入学した大学の情報を入手しました。日本留学試験( EJU )のことは、私の国の首都ジャカルタにあるJASSOの事務所に問い合わせして知り、EJUの資料やEJUを利用して渡日前入学許可を実施する大学のリストを送ってもらい、その中から京都外国語大学を選びました。

### どうやって入学した大学との連絡を取ったか、また、その時に困ったことは何か

入学した大学はJASSOのジャカルタ事務所を通じて連絡を取りました。JASSOに京都外国語大学に関する情報を色々教えていただき、より詳しい情報を得るために大学に電話をかけました。そのとき困ったことは、電話を受けた大学のスタッフが、日本語が分からない人に対して、詳しい説明をしてくれなかったことです。その後、パンフレットなどを送ってくれましたが、やはり電話でのやり取りで情報を得ることは大切なことだと私は思います。



Rika Gunadi  
インドネシア出身  
京都外国語大学 外国語学部1年

### 日本留学試験受験のためにどんな準備をしたか

6月に行われる留学試験は、私にとってぎりぎりの日程でした。なぜなら私の国では高校卒業が5月だからです。そのぎりぎりの日程を考え、私は3月頃から昔大学の学長をしていた先生に頼んで日本について色々教えていただき、勉強に励みました。テキストは大学入学試験の問題集や前年の日本留学試験問題集などを使いました。その他、会話の練習や作文の書き方についてなど、さまざまなことを学びました。

### 日本留学試験の試験問題について

私はEJUの「日本語」の問題は日本語能力試験の1級に匹敵するものだと思います。知り合いの話ではEJUの「日本語」の問題は日本語能力試験の2級程度と言っていました。私にはそうは思えませんでした。一見簡単そうに見える問題の答えには多くの落とし穴があり、初めて試験を受ける人は緊張で答えをよく見ず、間違った番号を塗りつぶすこともあります。EJUの問題は基本的な問題が多く感じられましたが内容は深いようにも感じられました。そしてこのEJUでは、日本語能力試験にはない「記述問題」もあります。私がこの試験で一番大変だと思ったのは「読解問題」でした。「聴解問題」も難しかったですが「読解問題」は難しいを通り越して大変でした。「聴解問題」は「正しくない」と思った番号も塗りつぶさなければならぬし、問題をしっかり聞く時間すらありませんでした。問題を聞きながら塗り終わっていない部分を塗り、さらに次の答えの塗りつぶしが待っています。慣れていなければ手が疲れてしまい、あせりで間違った番号を塗りつぶしてしまいそうになま

す。「読解問題」のほうも似たような状況でした。選択肢の番号は塗りつぶす必要はなくても、問題である短い文章の理解に時間がかかったことは事実です。30分の試験時間で20問を解く事はプレッシャーが一番かかるものです。急がないと間に合わないと思う心が間違った答えへと導くものと私は思います。問題自体が難しいということもありますが、冷静さを欠いた受験者自身の答えが、よい成績を取ることができない理由につながるものではないかと私は思います。

### 入学した大学から合格通知を受け取った時の気持ち

京都外国語大学から合格通知をもらったとき、はじめは信じられないという気持ちでした。何度も合格通知に目を通し、それが嘘でも夢でもないことを確認を取り、そしてはじめて私はうれしさに胸がいっぱいになりました。今まで頑張ってきてよかったと、改めて思いました。このような気持ちを味わったのは初めてでした。それほどまで合格したことに私は幸せを感じました。

### 渡日前入学許可で入学してよかったこと

渡日前入学許可で入学したことは非常に有利なことだと私は思います。第1に、日本で入学したことに比べ嬉しさが倍増します。自分の国で日本に行かず一生懸命勉強し、そして合格したことは自分だけではなく、それをサポートしてくれた人たちにとって嬉しいことであり、誇るべきことだと思います。第2に、入学までに必要な経費を減らすことができます。日本の物価の高さは世界中でよく知られています。ほとんどの留学生は私費で留学していて、留学生に対する奨学金も多くはないので、日本での生活はたいへんです。京都外国語大学の場合、渡日前入学許可制度の受験料は日本で受験する料金より先安設定されているので助かりました。第3に、自分の国で入学が決まった場合、安心して日本に行くことができます。この様に、渡日前入学許可は日本で入学が決まったことに比べ、様々な面で有利であることが分かります。

### その他、日本の大学の外国人留学生入試で望むこと

外国人留学試験で望むものは2つあります。1つ目は日本の生活費は高いので、大学独自の奨学金制度を充実してもらえればありがたいと思います。2つ目は、EJUの解答時間をもう少し長くすることです。初めての人にはきつすぎると思います。

ジャカルタ市内



## 大阪経済法科大学の受入れ体験

大阪経済法科大学では2003年度留学生試験において、韓国から2名の渡日前入学許可による留学生を受け入れました。渡日前入学に関する本学の取り組みを以下の通りご紹介いたします。

### 各国で行った広報活動

本学においても他大学同様、渡日前入学許可の実施を促進するため、独立行政法人日本学生支援機構を通じ、日本留学試験が実施されている国・地域での日本留学フェアへの参加、並びに資料送付等の広報活動を展開してきました。

特に日本留学フェアには、日本留学試験が実施される以前から、継続的に参加しており、この間韓国・台湾・マレーシア・インドネシア等での開催に参加してきました。

日本学生支援機構からの日本留学試験海外試験会場で配付する資料の提供依頼について、毎回必ず提供しています。また、資料配布の主な内容としては、本学の留学生試験要項と大学案内セット(日本語・英語)を中心に、多種多様な広報宣伝物を送付しています。

さらに、近年は本学のホームページを通じて、海外からE-mailで直接、資料請求や問い合わせが行われるケースも増えてきています。そのため、海外からのアクセスに対応するため、本学Webサイトの機能を強化し、学内施設や入学試験について、わかりやすくかつ見やすい内容で紹介できるように英文サイトの充実を図っています。

### 出願者との連絡方法

主に、文書送付(日本語)と国際電話(ハングル)による方法で、出願者と連絡をとりました。

入学手続や在留資格の申請に関する連絡等、出願者が本学に対して書類を提出しなければならない場合は、提出書類に日本語で作成された文書を同封して出願者に連絡しました。

また、2名のうち1名については、関東地方に「身元引受人」的な日本人の知り合いがおり、そちらに一定期間滞在していたということもあって、その方と日本語に



咸 勝規  
大阪経済法科大学  
入試課

よる電話連絡も行いました。

しかし、文書や人を介した連絡方法では、当事者間で細かいニュアンスまで伝わりにくい(または伝えにくい)といった問題点もあることから、大学及び出願者の双方が詳細事項について確認する場合、円滑なコミュニケーションが必要となるため、学内セクションの協力を得て、直接、ハングルでの意思伝達という方法をとることとなりました。

ハングルによる連絡方法のみでも問題はなかったかもしれませんが、入試課としては教育的な観点から連絡時にはなるべく日本語を使用するよう心がけました。

### 受験料の受取

本学では、日本国外からの出願者に対して、国内からの出願者とは異なり、入学検定料を本学指定口座に振り込む代わりに、当該国で国際返信切手券(International Reply Coupon)20枚(合計20USD分)を購入し、出願書類に同封するよう、入学試験要項で定めています。

金融機関への現金振込ではないため、本学としては国際郵便切手が大学に到着するまで、出願者が入学検定料を振り込んだかどうか確認できないというデメリットはありますが、しかし、渡日前入学を考えている国外からの志願者にとっては、銀行での煩雑な振込手続がなく身近で気軽に入学検定料支払い手続を行えるため、メリットがあるものと思われます。

### その他

本学では留学生専用宿舎として、大学所在地(大阪府八尾市)に隣接する東大阪市に2カ所の学生寮を保有(寮室合計76室)しています。入寮希望者に対しては新入生を優先して、1年以上の入寮を認めています。渡日前入学者に対しても同様の措置をとっています。

## 京都ノートルダム女子大学の受入れ体験

京都ノートルダム女子大学では、外国人留学生の受入れを2000年度より行っています。初年度より、外国人留学生の入学選考については、日本語能力を測ることが常に大きな問題となっていました。当初、国内出願者に対する選考は本学独自の日本語筆記試験と面接によるものでしたが、海外出願者に対しては書類選考のみで、特に日本語能力を立証するもの(日本語能力試験の成績等)を課していなかったため、出願者の日本語能力を明確に判断することができないことが懸案となっていました。しかし、2002年度より「日本留学試験(EJU)」が実施されることになり、国内外の出願者の日本語能力を均一に測ることができるようになり、「渡日前入学許可」が可能となったことは、本学が外国人留学生入学試験を実施するうえで大きな利点となったことはいうまでもありません。

本学人間文化学部人間文化学科2年次に在学中の台湾出身の外国人留学生、石育綺(ス・ユーチ)さんは、2002年6月のEJUを受験し、その日本語の成績を利用した外国人留学生試験に合格し、2003年4月に入学しました。

石さんと本学の最初の出会いは2002年7月に台北で開催された財団法人日本国際教育協会(当時)主催の「2002年日本留学フェア(台湾)」の会場でした。石さんはお母様と2人で本学のブースへ来られて面談を受けられたのですが、本学にとっても興味を持たれ、大変熱心な態度で、入学試験選考方法、カリキュラム、学生寮などについて質問をされました。

本学では2003年度外国人留学生募集要項から初めて、海外出願においてEJUの日本語の成績、または日本語能力試験2級以上の成績を利用した書類選考による渡日前入学許可を開始したところでした。石さんは、彼女が高校生の時に交換留学生として一年間日本へ留学していた経験があり、ぜひ日本の大学へ入学したいという確固たる意志をもって、独学でEJUの勉強をし、日本留学の準備をしていたのでした。当初、「日本留学フェア」会場で面談をした時点では、EJUの成績がまだ出ていなかったことや、本学におけるEJUの成績の出願の基準点が明確ではなかったため出願されるかどうかは未定でしたが、2002年10月に出願し、海外出願によるEJUの成績を利用して入学した初めての留学生となったのです。



眞田佳子

京都ノートルダム女子大学  
国際交流センター・国際交流課

海外出願における受験料の払い込みは、本学指定銀行口座へ海外送金による銀行振込みで行っています。2000年度以来、これまで海外送金によるトラブル等は生じていません。

合格後の入学許可書、ビザの申請(在留資格認定証明書交付申請)などについての書類はすべてEMSで発送し、その後のやりとりはほとんどが手紙でしたが、FAXや電話を使うことも何度かありました。

このように、EJUを利用した渡日前入学許可は、受入れ大学側にとっては入学選考において留学生の日本語能力の評価を得ることができ、留学生にとっては来日することなく入学選考が受けられるため経済的な負担の軽減という点が大きなメリットですが、外国人留学生に対して日本留学の門戸を広げるという意味においても欠かすことのできない制度と言えるでしょう。

## 山形大学の受入れ体験

私が入学試験を担当するのは、約10年ぶりでした。この間、入学試験は大きく様変わりしましたが、私費外国人留学生の受入れについても日本留学試験が導入され、渡日していなくても出願等が可能となったことなどを知りました。

平成16年度の入学試験で、このようなことを改めて認識させられる出来事が二つほどありましたので、今回はそのことを記述させていただきます。

一つ目は、韓国から留学したいという方でした。

電話により出願書類などの問合せがあり、いろいろ話をさせていただきましたが、即答できないことがあり、「そのことにつきましては確認したうえでご連絡しますので、電話番号をお知らせください。」と申し上げましたところ、聞き慣れない電話番号を告げられ、初めは、携帯電話の番号かと思ってしまいましたが、よく確認したところ、韓国から電話しているとのことで、驚くとともに、改めて現行制度を認識させられた出来事でした。

その後、韓国に電話しましたが、なかなか通じず、苦勞いたしました。数日後に御本人から電話をいただき事なきを得ました。

二つ目は、マレーシアから留学したいという方でしたが、本人からの問合せではなく、日本に住んでいる方からの電話でした。

その方は留学したいという方との面識は無く、マレーシアで日本語学校の先生をしている方から頼まれて、問合せをしてくださったとのことでした。その方の話を伺い、おおよそのことは分かったのですが、詳しいことになるとマレーシアにいる先生に問い合わせないと分からないとのことで、仲介役として大変ご苦勞をいただきました。

マレーシアからの留学生となると、通常は政府派遣であり、私費の留学生試験を受験するケースが無かったものですから、どのような経緯で政府派遣となっていないのか心配いたしました。

幸い、マレーシアの日本語学校の先生から直接電話をいただき、本来在籍するはずのマラヤ大学が手狭になり、収容数を越えた生徒を受け入れてくださるようマラヤ大学から依頼されたというような諸事情を伺い、理解できました。

マレーシアとの連絡は、時差の関係、現地の授業の関係もあり、日本との時間



伊藤雅彦  
山形大学 工学部  
入試広報係長

帯がなかなか折り合わず大変でしたが、マレーシアの先生と仲介いただいた日本の方のご理解とご努力により、大変助けられました。

実際に受験する方と接して感じたことは、会話能力を身に付けなければならないということでした。韓国の方は日本語が堪能でしたし、マレーシアの方については代理の方がいましたので、会話の面では苦労することなく助かりましたが、今後は、私たち担当者も英語による会話能力を身に付ける必要があると痛感しました。

また、検定料、入学料などについても、日本に在住している方が立て替え払いをしていただきましたので、このことについても混乱はありませんでしたが、今後、留学生を受け入れていく上では、外国から直接送金できるシステムを確立することや、募集要項や受験案内の英語版を作成することが必要であると思いました。

更に、VISAを取得するには合格通知だけでは足りず、入学許可書も必要な場合があるのですが、入学料を納めてからでないとう入学許可ができないというこれまでのシステムではVISAの申請までに時間がかかりすぎ、入学式前に渡日できなくなることもあり得るため、より柔軟な取り扱いが必要であると思いました。

今年度の入試では、去年の経験を生かし、これらの課題解決に向けて日々努力しているところです。

## 中央大学の受入れ体験

1999年度より本学商学部(以下、「商学部」という。)において、外国人留学生入学試験に本学独自試験を課さず、日本語能力試験(1級)、私費外国人留学生統一試験(文科系)結果および高等学校の成績等による書類選考による方式(商学部外国人留学生入学試験B方式。以下、「B方式」という。)を新たに導入しました。その後、2003年度入学試験より、日本語能力検定試験(1級)、私費外国人留学生統一試験(文科系)に代わり、「日本留学試験(EJU)」利用を導入して、現在に至っています。B方式としての制度発足から現在に至るまでの経緯と事務運営を踏まえ、導入の目的、受験生への広報と対応について紹介します。



川野 正一  
中央大学  
商学部事務長

### . 導入の目的

商学部は、経営、会計、商業・貿易、金融の4学科で構成され、本学他学部に比べ、留学生にとって興味がある学科が多く設置されていることから、毎年、多くの留学生が受験しています。1999年度より、留学生の入学者の多様化を図り、優秀な留学生を本学部より輩出するために、本学独自試験を課さない上述B方式による選抜方法を新たに導入し、同時に海外からの受験料納入による渡日前入学許可を実現すべく新たな入試形態としました。

### . 受験生への広報

B方式の導入にあたり、制度導入に関する広報活動については、本学国際交流センターを通じて受験案内をアジア各国における「日本留学フェア」(独立行政法人日本学生支援機構主催)あるいは国内の留学説明会での配布の他、各国大使館、日本語学校や日本学生支援機構留学情報センター及び同機構海外事務所等に送付しました。

### . 受験生への対応

#### (1) 出願時

##### 選考料納入について

選考料納入方法については、受験案内にて、外国向け電信送金(Remittance Telegraphic Transfer)を利用して選考料の全額が日本円で大学に到着するようにするための方法、および取扱銀行等、また、国によって金融事情が異なるため、必ず各自で銀行に確認し送金をするように、実際の方法をスペースを割いて明記しました。

受験案内には、前述したように選考料納入方法については、詳細に記していますが、それでも本人の確認漏れによって、本学取扱銀行と契約のない海外銀行からの送金があった場合に手数料が契約銀行からの送金より多く差し引かれてしまうため、大学に着金する選考料に不足が生じてしまうことが毎年数件生じています。また、国際郵便為替による納入は認めていませんが送金されてきてしまうことがあります。この場合は、為替の変動により誤差が生じ、その都度受験生との対応に追われることがあります。送金が先で出願書類が未着の場合も多く、本人への連絡が遅れ、それに伴い入金処理が遅滞してしまうなど、選考料入金方法における処理の煩雑さが生じていることは否めません。

#### 出願書類の確認について

出願に不備が生じた場合は、本学国際交流センターのスタッフによりファクシミリまたは電話にて連絡を行っています。

## (2) 入学時

入学時納入金については、日本国内の銀行からのみ振込みを行うこと、および入学時書類は、国内受取人住所に郵送しています。入学までに必要となるビザの取得方法等については、入学案内で詳細に記載し、また、本学国際交流センターにて個々に対応しています。

## (3) 入学後

商学部には、留学生用特別科目として「日本事情」および「日本語」を設置しています。また、日本語能力に優れていると入試結果により判断される場合は、「日本語」と「日本語以外の外国語」を履修することができます。また、外国人留学生向け履修ガイダンスを実施しています。

日本語担当教員は、本学独自試験を課すA方式入学生との学力差が生じないように、A方式での合格者の日本留学試験結果を参考に、B方式の合格ラインを設定しているため、入学後の学力差は、A方式もB方式も感じられないと話しています。

以上、今後も商学部教育理念を十分に生かし、留学生の受け入れ拡大をさらに検討していきます。

## 横浜国立大学の入学試験を受験して入学した Galbadrakh Suuri さんの体験談

私の名前はガルバドラッハ・スウリです。2003年にモンゴルのウランバートル市にあるモンゴルで初めての3年制の高校「新モンゴル高校」を卒業しました。その後、モンゴル国立大学に入学し約1年間勉強しました。私はその間に6月、11月の日本留学試験を受けました。私は日本の大学で勉強したいと思い、それを自分の第一の目標にしていました。もちろん夢は別です。私が大学受験をする時点での就学期間は、大学での期間を合わせてちょうど12年間でした。しかし、日本の大学を受験するための就学年数を始め、様々な問題がありました。

### どうやって入学した大学の情報を得たか

私が入学した横浜国立大学についての情報を得るのに一番役に立ったのは、その年の『私費外国人留学生のための大学入学案内』でした。その本は毎年改正されるし、必要な情報は大体ありました。次にインターネットです。インターネットでは、各大学のホームページでさらに詳しい情報を得ることができました。やはり、日本ではなく海外から出願するにあたっては、最新の情報が不可欠でした。

また海外から直接入学することはどんなに大変なことだったのかというのは、大学に入ってからすごく感じました。というのは、私が聞く留学生の話では、日本語学校に通わず、直接母国から入学した学生はすごく少なかったからです。

### どうやって入学した大学との連絡を取ったか、また、その時に困ったことは何か

大学に直接電話しました。そこで、詳しく自分の事情を説明し受験資格があるのかどうか、色々と話をしました。そして、多くの大学は受験資格がないということで話は終わってしまいました。大学を含めた就学年数ではなく、高校卒業までで言えば、12年まで少し足りなかったからです。

でも、教育自体は同じものを受けたわけなのです。あきらめずに最後までいろいろな大学に連絡しました。その時、私たちは大学の都合で自分の専門は変えたりしませんでした。でも、日本の国立大学も法人化が進んでいることもあり、いくつかの大学から受験資格があるという返事をいただくことができました。ちなみに、私は国立大学だけを受験しました。

### 日本留学試験受験のためにどんな準備をしたか

日本留学試験(EJU)の準備としては、EJU自体が始まったばかりだったのでわからないこともたくさんありましたが、とにかく高得点を取ることで、より目的に近づくことは確かだと思っていたので、本当に全力で取り組みました。

私は、文系だったので日本語、総合科目、数学(コース1)を受験しました。6月の受験では初めてのこともあり、戸惑いもあって、試験時間が本当に短く感じてうまくいかなかったことを覚えています。しかし、11月の試験ではそれが大きな経験になり、結果にもつながりました。私たち卒業生は、11月の試験までに母校の新モンゴル高校で毎日大学が終わった後、先生方をお願いしてEJU対策の勉強をしました。そういったたくさんの先生方やいろいろな人の手助けがあってこそ、ここまで来られたと思っています。



Galbadrakh Suuri  
モンゴル出身  
横浜国立大学 教育人間科学部1年

## 日本留学試験の試験問題について

試験の問題については、まず日本語は日本語能力試験2級以上のレベルだったと思います。私は1級に合格していますが、それでも簡単ではなかったです。総合科目は『チャレンジ』という本を使って勉強しました。その本は分野ごとに分けてわかりやすくできた本です。私は、その本を何度も読み、問題もやってきました。そのおかげで総合科目は思ったような点数を取ることができました。総合科目で思ったことは、日本の公民や政治についての問題がとて多かったです。海外で受験するものにとっては、それは本当に難しいと思います。地理に関しても地図の記号なども、日本のを知っている人はまずいなし、とても難しいと思います。もう少し、世界史などについて出題されればわかりやすいと思いました。それ以外にも、理系の人は、物理・化学・生物の中から2つ選び受験しました。それも日本独特の教育の特色が出ていて、見たこともないような問題があったそうです。それは、日本とモンゴルの理科教育のずれから生じたものだと思います。数学については、過去の問題集などを使って準備しましたが、しっかりやってさえいれば難しいものではなかったと思います。

## これから日本へ留学をするみなさんへ

受験する大学が決まり、願書を取り寄せるに当たって大変だったのが、モンゴルの郵便局で確実に届くかどうかという心配もあったし、あちらのほうから資料を送ってもらうことで、期間が本当にギリギリになってしまい、海外から直接というのにはいろいろな壁がありました。それでも私は2つの大学へ願書を出すことができました。

直接国から願書を出し二次試験を日本へ行って受けるというケースはモンゴルでも初めてのことでしたし、何もかもが初めてのことであったため私たちは、後から来る後輩たちのために確実な道を作ってあげるためにもがんばることができました。自分の経験が次から次へとつながり、よりよい道ができていけばと思います。また、日本へ留学したいが、具体的にどうするかわからない人もたくさんいると思います。このように日本へ行くにはまずたくさん勉強しなければいけません。そして、二次試験を受けるために、日本へ私費で行く必要があります。そして、日本にいる間の費用もあります。日本での試験も簡単ではありませんでした。面接は基本的なことから練習していましたが、面接で合格するために一番必要なことは将来の自分の夢やどうしてその大学に入りたいのか、大学で何をしたいのかという意味が自分の中で明確になっていることだと思います。まず、自分自身で意思を確認して何をしたいのかゆっくり考えて、心の奥から目標を自覚しないことには面接官の心に届きません。私は、2つの大学を受けましたが、最初の埼玉大学の時はまさにその目標を自分の中で自覚できていなかったと思います。そして、それに失敗したおかげで自分を最初から切り替えて本当に夢を強くかみ締めながら今の大学の受験に望むことができて本当によかったと思います。

2つの大学を受験したのが正解でした。でも、なるべく早く渡日前入学許可校を探しそれらを受験するという方法も早いうちから調べておくといいたいです。これから日本の大学を受験をする皆さんに、「決して日本の大学に合格するのがすべてではない」と言いたいです。本当に大変なのは、入学してからです。第一に異国で、一人で暮らすという大変なことが待っています。しかし、それができれば本当に自分の夢へ一歩近づけると思います。

## 千葉大学の入学試験を受験して入学した Byambaa Batzaya の体験談

### どうやって入学した大学の情報を得たか？

私は、日本留学試験 (EJU) の成績通知を手にしてから受験する大学を探しました。当時、モンゴルでは初めてだった3年制の高等学校「新モンゴル高校」の第1期生であった私は何も経験なく、校長先生と日本人の日本語の先生にアドバイスをいただきながら大学を探しました。

まず、『私費外国人留学生のための入学案内』を調べて、自分に合う大学を探しました。また、EJUの試験会場で配っていた各大学の案内書も結構役に立ちました。

次に、もっと詳しく調べるために大学のホームページを参考にしました。こうして私が受験した二つの大学の一つである岩手大学を見つけました。ただし、私が入学した千葉大学については、新モンゴル高校を支援している団体の日本人からよく話を聞いていたのでどんな大学なのかは知っていました。

### どうやって入学した大学との連絡を取ったか、またそのときに困ったことは何か？

最初は案内書や大学のホームページから電話番号を見つけて電話で連絡しました。当時、私が一番困っていたことは日本の大学入学資格のことでした。日本の大学入学資格には「外国において学校教育における12年の課程を修了した者」がありますが、私の新モンゴル高校卒業までの教育期間が11年間だったからです。大学の案内書には教育期間が12年に満たない者の取り扱いについて何も書いていなかったため、大学の人に直接聞いてみようと思ったからです。

電話をする時は、日本語が上手ではない私に代わり校長先生が大学の人と話してくれました。本当は自分でやらなければならないのに校長先生にお願いしてしまい、校長先生に迷惑をかけてしまいました。

その後は、メールでの連絡が中心でしたが、出願期間の締切日が迫っていたので電話で連絡することもありました。

私の場合、受験する大学の情報を得るのが遅かったため、大学との連絡にも時間的な余裕がなく困りました。これから日本に留学を考えている後輩達には、入学したい大学を出来るだけ早く決めて連絡を取るようになってほしいと言いたいです。

### 日本留学試験のためにどんな準備をしたか？

私は子供の頃から日本に興味を持っていましたが、日本に留学するのは夢だけのことだと思っていました。しかし、新モンゴル高等学校に入学してからは、自分が頑張れば実現できることだと分かって、日本に留学することは私の目標になりました。

私が卒業した新モンゴル高校はモンゴルで初めての3年制の高校でした(普通の高校は2年制)。最初の2年間はモンゴルの普通の高校で学ぶ内容とほとんど同じですが、少し日本の教科書の内容を入れて授業が行なわれます。この間、日本語のひらがなも習いました。3年生になると、日本に留学するための準備、試験対策問題をやりはじめました。先生たちから習うのではなく、自分で日本語の教科書を読んで、問題を解けるようになりました。生徒達は自分の興味のある日本の教科書をモンゴル語へ翻訳しました。例えば、私は化学の教科書を翻訳したのですが、化学の専門用語を覚えるのにすごく助かって、EJU受験だけではなく今でも大学の勉強に非常に役に立っています。

高校でのもう一つのアドバンテージは午前8時半から午後5時まで先生がずっと学校にいるので、いつでも先生にわからないことを質問できること、授業が終わってからも高校に残って出来なかった問題を友達と一緒に復習することができたことです。

私の一番心配していた科目は日本語でした。というのは、2年生になる時のクラス分けで理系クラスに入ったため日本語の授業は1週間で2時間しか入っていなかったからです。幸い、3年



Byambaa Batzaya  
モンゴル出身  
千葉大学 工学部1年

生の夏休みの時(7月から8月)日本語のためのサマースクールが行われました。それは1ヶ月の間、日本から来た先生達が日本語を教えてくれるコースでした。朝8時から午後4時までずっと日本語と日本文化を学んだり、授業が終わっても先生の家に行って遊んだり、実際に日本語だけの環境ができて、それと共に勉強以外のことについても理解することができるようになりました。

私は9月に大学生になりましたが、新モンゴル高校の留学準備のためのオータムスクールに参加しました。オータムスクールでは、EJU試験問題集と試験対策問題を決まった時間内に解けるように練習し、また、心の準備もしました。試験にどうやって速く解くか、解いているときに間違えたりしても落ち込まないでどうやって解き続けるかについて先生達が自分の経験からアドバイスをしてくれました。その上、高校で試験直前にEJUと同じ形式の準備試験をしたのは試験に対する緊張を減らしてくれました。

今振り返ってみると私達を応援してくれたいろいろな人の協力はもちろんですが、その他に自分の目的をはっきり持ち、それを信じることができたから、また自分が一人で頑張るだけではなく、みんなと一緒に頑張れたから諦めないで目標を叶えられたのではないかと思います。

### 日本留学試験の試験問題について

私の専門は化学で、EJUを2回(2004年の6月と11月)受けました。科目は日本語、理科(化学、物理)、数学(コース2)を受験しました。6月に初めて試験を受けた時、試験のためにはたくさんの経験とたくさんの練習が必要だと感じました。EJUはマ-クシート式で、ただ頭が良いだけの人では解けないと感じました。私の経験では文部科学省の奨学金試験や日本語能力試験など他の試験と比べると問題数が多くて、それに対して解答時間が短いので速く解く必要があります。例えば、数学の一つの方程式があったとします。問題を解答するには方程式の解き方だけでなく、その応用ができないと解答することができないと感じました。理科は出題のパターンがある程度決まっているようなので、しっかり準備が出来た人にとってはそれほど難しいとは感じないのではないかと思います。

しかし、モンゴルと日本の教育の内容がほとんど同じでも、出題の形態や方法が違うので、それに慣れることが難しい所だと思います。

### その他、日本の大学の外国人留学生入試で望むこと

私達が大学を調べている時に日本のほとんどの大学が18歳以上という年齢制限、12年間の教育課程の修了を入学資格としていることがわかりました。私の友人の希望していた大学もこんな条件があったので彼女はその大学を受験することが出来ませんでした。

そこで、日本の大学には、留学生の出身国によって教育制度が異なると思いますが、18歳未満でも、修了した教育課程が11年であっても入学できる能力があるならば入学資格を与えてくださるようお願いしたいです。

また、渡日前入学許可についても、たくさんの大学の実施を望みたいです。合格か不合格か日本に行く前に分かることで経済的の負担がなくなることや、勇気を振り絞って試験を受けに来日した学生が日本で不合格になると夢や希望などをなくしてしまう心配がなくなるからです。

私はわざわざ高い渡航費を負担して千葉大学で数学と化学、面接の試験を受けました。その時、家族、先生、友達など私を応援している全部の人の重い期待、また、先輩として後輩達のため、高校ひいてはモンゴルからの日本への私費留学生の新しい道を作る責任を感じるとどうしても合格しなければならぬと思っていました。でも、大学入試はすごく難しかったし、合格発表があるまで本当に悩みました。私は合格したことを聞いて信じられないほど喜びましたが、日本に留学する学生たちが不安な気持ちにならなくてすむ渡日前入学許可の大学が増えることを希望します。

# 日本留学試験を利用した渡日前入学許可大学

## 【大学】

平成16年12月15日現在

	学校名	学部名
1	国立 室蘭工業大学	工学部
2	北見工業大学	工学部
3	山形大学	理・工(Aコース)・農学部
4	お茶の水女子大学	理学部(物理)
5	東京工業大学	工学部 *インドネシア、韓国、タイ、マレーシアのみ
6	東京農工大学	工学部
7	岐阜大学	農学部(獣医を除く)
8	豊橋技術科学大学	工学部
9	京都工芸繊維大学	工芸・繊維学部
10	神戸大学	理学部(物理、地球惑星科学)
11	島根大学	法文・総合理工・生物資源科学部
12	鹿児島大学	理(物理科学、生命化学)・農学部
13	琉球大学	法文・工・農学部
14	私立 郡山女子大学	家政学部
15	共愛学園前橋国際大学	国際社会学部
16	上武大学	商・経営情報学部
17	明海大学	外国語・経済・不動産・ホスピタリティ・ツーリズム学部
18	麗澤大学	外国語学部(日本語) *10月入試のみ
19	亜細亜大学	経営・経済・法・国際関係学部
20	慶應義塾大学	商・法・経済学部
21	専修大学	経済・法・経営・商・ネットワーク情報学部
22	中央大学	商学部
23	東海大学	文・政治経済・法・教養・体育・理・電子情報・工・第二工・開発工・海洋・健康科学部
24	東洋大学	国際地域学部
25	日本大学	経済・理工学部
26	文化女子大学	服飾・造形・現代文化学部
27	法政大学	法・文学部
28	明治大学	商・文・理工・経営学部
29	立教大学	経済・法・社会・観光・コミュニティ福祉・文・理学部
30	早稲田大学	政治経済・商・人間科学・スポーツ科学・教育学部
31	新潟産業大学	経済・人文学部
32	帝京科学大学	理工学部
33	長野大学	産業社会学部(指定校のみ)
34	静岡産業大学	経営学部
35	人間環境大学	人間環境学部
36	京都外国語大学	外国語学部(日本語)
37	京都ノートルダム女子大学	人間文化学部
38	立命館大学	法・経済・経営・産業社会・国際関係・文・政策・理工学部(指定校のみ)
39	大阪経済法科大学	経済・法学部
40	近畿大学	理工・文芸・農・工・産業理工学部
41	プール学院大学	国際文化学部
42	呉大学	社会情報学部
43	広島経済大学	経済学部
44	広島国際学院大学	工・情報・現代社会学部
45	立命館アジア太平洋大学	アジア太平洋・アジア太平洋マネジメント学部

## 【短期大学】

	学校名	学部(学科)名
1	私立 小樽短期大学	
2	郡山女子大学短期大学部	
3	新島学園女子短期大学	国際文化学科
4	城西大学女子短期大学部	
5	亜細亜大学短期大学部	
6	日本大学短期大学部	建設・基礎工・応用化学科
7	文化女子大学短期大学部	服飾・生活造形学科
8	堺女子短期大学	日本史・生活文化学科
9	プール学院大学短期大学部	秘書科
10	長崎短期大学	
11	南九州短期大学	

## 【大学院】

	学校名	学部(学科)名
1	国立 広島大学	先端物質科学研究科
2	私立 慶應義塾大学	法学研究科
3	広島経済大学	経済学研究科経営学専攻・博士前期課程、後期課程

# 平成16年度入試における日本留学試験利用渡日前入学許可実施状況について

本機構では、平成16年度私費外国人留学生の入学選抜に日本留学試験を利用して渡日前入学許可を実施している大学(40校)及び短期大学(9校)に対して、実施状況についての調査を実施しました。

## 1. 日本留学試験を利用した渡日前入学許可の定義

外国人留学生の入学選抜に日本留学試験の成績を利用し、海外から直接出願を受け付け、入学選抜のために出願者に渡日させることなく入学を許可する制度のことをいいます。

従って、本調査では、日本留学試験を日本国内の会場で受験した者からの出願については除外してあります。

## 2. 調査実施校

### 【大学】

	学校名	学部名
1	国立 室蘭工業大学	工学部
2	山形大学	理・工(Aコース)・農学部
3	お茶の水女子大学	理学部(物理)
4	東京工業大学	工学部 *インドネシア、韓国、タイ、マレーシアのみ
5	東京農工大学	工学部
6	岐阜大学	農学部(獣医を除く)
7	豊橋技術科学大学	工学部
8	京都工芸繊維大学	工芸・繊維学部
9	神戸大学	理学部(物理、地球惑星科学)
10	鳥根大学	法文・総合理工・生物資源科学部
11	鹿児島大学	理(物理科学、生命化学)・農学部
12	琉球大学	法文・工・農学部
13	私立 郡山女子大学	家政学部
14	共愛学園前橋国際大学	国際社会学部
15	上武大学	商・経営情報学部
16	麗澤大学	外国語学部(日本語) *10月入試のみ
17	亜細亜大学	経営・経済・法・国際関係学部
18	慶應義塾大学	商・法・経済学部
19	専修大学	経済・法・経営・商・ネットワーク情報学部
20	中央大学	商学部
21	東海大学	文・政治経済・法・教養・体育・理・電子情報・工・第二工・開発工・海洋・健康科学部
22	日本大学	経済・理工学部
23	法政大学	法・文学部
24	明治大学	商・文・理工・経営学部
25	立教大学	経済・法・社会・観光・コミュニティ福祉・文・理学部
26	早稲田大学	政治経済・商・人間科学・スポーツ科学・教育学部
27	新潟産業大学	経済・人文学部
28	帝京科学大学	理工学部
29	静岡産業大学	経営学部
30	人間環境大学	人間環境学部
31	京都外国語大学	外国語学部(日本語)
32	京都橋女子大学	文・文化政策学部
33	京都ノートルダム女子大学	人間文化学部
34	立命館大学	法・経済・経営・産業社会・国際関係・文・政策・理工学部(指定校のみ)
35	大阪経済法科大学	経済・法学部
36	近畿大学	理工・文芸・農・工・産業理工学部
37	ブル学院大学	国際文化学部
38	呉大学	社会情報学部
39	広島経済大学	経済学部
40	立命館アジア太平洋大学	アジア太平洋・アジア太平洋マネジメント学部

### 【短期大学】

	学校名	学部(学科)名
1	私立 郡山女子大学短期大学部	
2	新島学園女子短期大学	国際文化学科
3	城西大学女子短期大学部	
4	亜細亜大学短期大学部	
5	日本大学短期大学部	建設・基礎工・応用化学科
6	堺女子短期大学	日本史・生活文化学科
7	ブル学院大学短期大学部	秘書科
8	長崎短期大学	
9	南九州短期大学	

### 3. 調査結果

		実施大学数		出願者があった		合格者があった		入学者があった	
大学	国立	12	(10)	3	(1)	1	(0)	1	(0)
	私立	28	(27)	11	(10)	10	(9)	非公開 <sup>1</sup> 8	非公開 <sup>1</sup> (6)
大学計		40	(37)	14	(11)	11	(9)	9	(6)
短期大学	私立	9	(9)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
合計		49	(46)	14	(11)	11	(9)	9	(6)

未回答:大学(私立)1、短期大学(私立)2 ( )内数字は前年度の調査結果

出願者、合格者(延べ)及び入学者数

		出願者数		合格者数		入学者数	
大学	国立	16	(1)	2	(0)	2	(0)
	私立	62	(54)	35	(33)	非公開 <sup>1</sup> 23	非公開 <sup>1</sup> (21)
大学計		78	(55)	37	(33)	25	(21)
短期大学	私立	0	(0)	0	(0)	0	(0)
合計		78	(55)	37	(33)	25	(21)

( )内数字は前年度の調査結果

出願者の出身国・地域(延べ)

国・地域名	出願者数	
韓国	57	(45)
マレーシア	6	(6)
台湾	3	(4)
ベトナム	3	(0)
インドネシア	1	(0)
非公表	8	(0)
合計	78	(55)

( )内数字は前年度の調査結果

### 4. 調査を終えて

日本留学試験を利用した渡日前入学許可が実施され2度目の入学試験となった今回の調査では、延べ78名の出願者(昨年度は延べ55名)があり、非公開校はあるものの10月入学予定者2名を含め25名(昨年度は21名以上)以上が入学を果たしたことが判明しました。また、昨年度は一人も入学者がなかった国立大学にも2名の入学者がありました。

出願者の出身国・地域を見ると、昨年同様に韓国が延べ57名と一番多く、次いでマレーシア6名、台湾及びベトナム各3名でした。

昨年度を上回る出願者、入学者があったことや、ベトナムとインドネシアからも出願があったことから、日本留学試験を利用した渡日前入学許可が徐々にではありますが確実に浸透してきたことがうかがえます。

今後は、海外実施の増設、渡日前入学許可実施大学(特に文系学部)の拡充など、海外の優秀な学生が渡日前入学許可により日本留学を実現できるように取り組んでいきたいと考えています。

#### 【参考】

本機構では、渡日前入学許可実施校へのサービスとして、日本留学試験海外試験会場において、各校の募集要項、大学案内等の配付協力を実施しています。